

団体名	キラキラ Tgirls（豊短）
説明文	<p>豊橋祭りを若い力で盛り上げよう！街なかの活性化を目指して「Let's join 豊橋祭り！」という事業名で取り組みました。</p> <p>総踊り当日は同じ豊橋市内の短大である愛知大学短期大学部、さらに豊橋商業高校の生徒さんとの合同で総勢約 80 名により参加しました。若者の祭りばなれを少しでも解消できたのではないかと思います。参加者からは祭りの楽しさを感じることができたという感想が寄せられています。</p> <p>このように祭りを盛り上げるために行ったのは大きく 3 つです。</p> <p>1 つ目は踊りの練習を徹底して行う事。休み時間に集まり何回も教室で行いました。またリーダー 2 人が市の練習会に参加して東京五輪音頭を覚えて教えました。高校生との合同の踊り練習会も 2 回行い、事前に交流をはかりました。</p> <p>2 つ目は注目してもらうための小道具作りです。おそろいのうちわを学校別に三種類作成しました。デザインの他、団体名にちなみキラキラする工夫を施しました。また髪飾りも人数分自分たちで手作りし、当日全員に配布しました。</p> <p>3 つ目は全員が浴衣で参加する、ということです。夏休みに講師の先生を招き着付け教室を開催しました。着付け教室に参加できなかった学生もいたため、自主練習会も開き習ったことを伝えたり、当日大学に集合してお互いに着付けを手伝ったりしました。当日は外国人の方から一緒に記念撮影を求められたり、注目を集めました。浴衣という日本文化の継承にも貢献できたと考えています。</p> <p>豊橋祭り参加当日は時々雨の降る中、みんなで大きな声を出して元気に踊りました。地元の 3 つの学校が連携して団体を組み、祭りを盛り上げることができました。</p> <p>また、総踊りに参加した企業について調べ、それをこれから就職する短大 1 年生、高校 3 年生を対象にプレゼンテーションを行いました。地元企業へ興味をもってもらい、若者の地元離れにもつながる活動ができたと思っています。</p> <p>課題も 2 点ありました。1 点目は高校生の参加が少なかったことです。今年豊橋祭りアピールのために早々にインスタグラムを始めたほか、2020 年度は豊橋市内の高校全校に案内を出そうと思っていました。しかし、祭りが中止になり本当に残念です。</p> <p>また企業の魅力の伝え方も参加企業のホームページなどで企業を調べ冊子にしたのみにとどまったため、実際に企業を訪問し、女性社員の方などに直接お話を伺いたいと思っています。それを高校生や短大生に伝え、地元企業に興味関心を持ってもらい女性が豊橋に根付き活躍することができる取り組みへとつなげていきたいと考えています。総踊りはなくなりましたが、この取り組みは今後も進め、若者に地元企業の魅力を伝えていきます。</p>



1 : 活動の様子



2 : 活動の様子



3 : 活動の様子